

第1回「自治力UP」推進協議会式次第

司会 政策企画課長

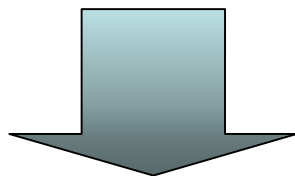
1. 委員委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 坂本区長
2. あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 坂本区長
3. 委員紹介
4. 会長選出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 政策企画課長
5. 会長あいさつ
6. 会長代理選出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 政策企画課長
7. 会長代理あいさつ
8. 協議会の傍聴規程について・・・・・・・・・・・・ 政策企画課長
9. 協議会概要等について・・・・・・・・・・・・・・・・ 政策企画課長
 ～ 意見交換～
10. 「新しい公共」と協働について・・・・・・・・・・・・ 政策企画課長
 ～ 意見交換～

第1回

「自治力UP」推進協議会

「自治力UP」推進協議会できめていくこと

新しい公共の実現に向けて、公の活動に多様な主体が参画することを前提にした仕組みづくりについて検討します。



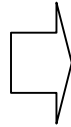
三つの視点から検討していきます。

- 1 関係づくり
- 2 環境づくり
- 3 行政の見直し

協議事項について

平成19年度

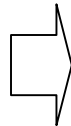
- 1 新しい公共の整理
- 2 協働についての基本的な考え方
協働の意義
協働に関する活動領域
協働を進める上での基本原則
協働の形態



- 12月・1月・2月 : 専門部会
3月 : 推進協議会
3月 ・ 中間報告 パブリックコメント
・ シンポジウム

平成20年度

- 協働の推進にむけての具体的な方策
- 1 関係づくり
 - 2 環境づくり
 - 3 行政の見直し



- 5月・7月・9月 : 専門部会
7月・9月 : 推進協議会
9月 ・ 最終報告 パブリックコメント
・ シンポジウム

協議会と専門部会

関係づくり

環境づくり

行政の見直し

協議会

- 1 協働の基本原則
- 2 地域コミュニティのあり方
- 3 その他

- 1 人材の育成
- 2 交流の場の設定
- 3 その他

- 1 区政への参加
- 2 情報の共有
- 3 その他

協働の基本的方向性

実現できる支援システム

協働を進める仕組みづくり

専門部会

協働を進めていくための
考え方や仕組み

協働を進めていくために
必要な支援など

協働を進めていくための
区との関係

協働の背景

1. 地方分権の進展
2. 社会の変化による区民ニーズの多様化
3. 公私区分の流動化
4. 公共を担う多様な主体の登場
5. 公共領域の拡大と行政を中心とした公共サービス提供の限界

協働の意義

1. 住民自治の拡充
2. 区民視点の行政
3. 行政活動の透明性の向上
4. 新しい公共空間の形成

協働の領域

区民の領域

協働の領域

区の領域

区民が自主的
に行う活動

区民が主、
区が協力して
行う領域

区民と区が
対等に協力
して行う領域

区が主、
区民が協力して
行う領域

区の責任により
区が独自に
行う領域

協働の考え方

区民と区が共通の目的を達成するため、
それぞれ自らの果たすべき役割及び責任を
自覚し、相互に主体性を持ち、自主性を尊重
しながら協力し合い、又は補完しあうこと。

新しい公共について

これまでのように「公共」を行政のみが行うのではなく、区民や各団体とともに担っていくという「新しい公共」の考え方に立って、多様な主体がそれぞれの立場で「公共」の活動をしていくこと。

新しい公共空間

協働

公共

NPO法人

PTA

町会・自治会

商店街

ボランティア団体

老人クラブ

企業

行政

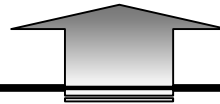
あたたかい人づくり
ナンバーワン

元気なまちづくり
ナンバーワン

安心・安全
ナンバーワン

新しい公共

公の活動に、多様な主体が主体的に参画し、みんなで支える社会のあり方、及びその形成に向けた活動。



「自治力UP」推進協議会協議事項

関係づくり

多様な主体の自主性、主体性を尊重し、多様な主体が公の担い手として活動するために、役割を分担しながら、対等な協力関係を築いていく

協働の意味を改めて問い直し、新しい関係づくりの方策を検討する。

協働の基本原則
地域コミュニティのあり方

環境づくり

区民が公のために活動することや公を担う多様な主体の活動を、社会的に応援するような環境、仕組みが必要である

区民が地域社会のために行う活動を、公の活動として応援していく方策を検討する。

人材育成
交流の場の設定

行政の見直し

行政の役割も、多様な主体で公を担う社会にふさわしい役割に変わっていく。

効率的な運営と、情報の共有化を進める。
区民の活動を支える新たな仕組みをつくる。

区政への参加
情報の共有